

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ A				
担 当 者	橋本好市				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.6	4.4	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>当該科目について、好意的な評価をいただきましたこと、お礼申し上げます。 今後の人生や仕事において、このテーマに引きつけながら、考えつづけるきっかけになれば幸いです。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	コミュニケーション論				
担 当 者	谷口英明				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.8	4.8	4.6	4.9	
学生へのメッセージ					
<p>今期は 222 名の学生が受講してくれて様々なメッセージをいただきました。 毎回、席とグループメンバーを変え、新鮮な気分で授業を行いました。 皆さんからは、授業が楽しみだった、対人コミュニケーションに必要なことを学べたなど高い評価をいただき感謝しています。 これからは学んだことをぜひ実践してください。 そして、今後の学生生活や社会に出ても役立ててください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	芸術文化論				
担 当 者	谷口英明				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.6	4.5	4.4	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>様々な分野で活躍されている方々の生きざまなどを聴くユニークな基盤科目です。 「今後の生き方の参考になった」「大きな視野で物事を考えられるようになった」など好評をいただきました。ぜひ、未受講の友人にも勧めてあげてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ A				
担 当 者	堀 理江				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.1	5.0	5.0	5.0	5.0	
学生へのメッセージ					
<p>他学科の学生さんの視点や感想が新鮮で楽しい時間でした。授業時間いっぱい、文献検索をしたり、プレゼン資料を作成する姿には感心しました。またゼミの雰囲気良く、安心した環境で伸び伸びとプレゼンできていたことも印象的です。直接、患者さまに関わることはなくても、病と共にある患者さまがどんな体験をされているかを知っていただくことは、今後のためになるのではないかと思います。今の積極的で優しい姿勢のまま3年半をお過ごしください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	教育と人間				
担 当 者	光成 研一郎 伴仲 謙欣				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	4.2	4.4	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>記述欄には、「外部の先生にもきてもらって、自分が知らない現場の話を聞けて、為になった」という好意的な意見がほとんどで、授業を設計した者として嬉しかったです。毎年好意的な授業評価を学生にしてもらっているので、来年もこの形式で実施していく予定です。今回は R・O・E の学生しか受講できなかったようですが、それぞれの専門職になったあとも他学科の学生とつながって、視野を広げてくださいね。期待しています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	まなぶる▶ときわびと I				
担 当 者	光成 研一郎他				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.4	4.5	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>この授業は、全学共通必修科目で他学科の学生と共に学ぶ特殊な授業です。みなさん、専門職になるので、この授業を学ぶ意義を感じてくれているので、毎年良い評価になるのだと思います。</p> <p>概ね、記述欄にも好意的な意見が多かったのですが、我々として反省しないといけない意見は、「教室の確保がしっかりとできておらず、不平等感を感じた（受講環境の違い）」という意見でした。来年度は教室の重なりが出ないように教務課としっかり調整します。申し訳なかったです。</p> <p>「教室配当（6号館になった）で当たり、はずれがある」という意見もありましたが、それは我慢してください。これだけ大人数の授業では、離れた教室に行かざるを得ない学生さんもできます。</p> <p>「グループ内でしっかり役割分担をこなしてくる学生とやってこない学生がいた」これは毎年言われることです。自分の責任を果たすことができない学生は毎年おります。それらの学生を教育するのは、主として教員の役割でもあると思いますが、皆さんは専門職に就き、さまざまな人と連携して仕事をこなしていく立場になる人です。課題をしてこない学生に対するアプローチも皆さん（他のグループメンバーで）を考えて、対応してみてください。（もちろん複数やる気のない学生が集まっているグループに配当されて困った学生もいると思います。そんな場合は担当の先生にも相談してください。われわれ教員にもこれといった解決策はないです（笑））</p> <p>この授業で学んだことを「まなぶる▶ときわびと II」や他の授業でも生かしてください。</p> <p>先日嬉しい報告を他学科の先生からいただきました。「まなぶる▶ときわびと」で協働学習をしているので4年生になって、他学科と合同の授業でも非常に学生が主体的に動き、授業がやりやすく、教員の出る幕がなかった」と。みなさんの今後に期待しています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ A				
担 当 者	森谷徳文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.0	4.9	4.9	4.6	5.0	
学生へのメッセージ					
<p>今回の mini ゼミが皆さんの今後にお役に立てれば幸いです. 何かお聞きになりたいことなどがあれば研究室までお越しくださいませと思います.</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	健康スポーツ科学Ⅱ				
担 当 者	近藤みづき・山下耕平				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	4.6	4.5	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>アンケートへの回答ありがとうございました。授業評価の結果や記述内容をみると、皆さんが満足する授業が展開できたと感じています。これは、皆さんが暑い中、積極的に授業に参加してくださったからだと考えています。</p> <p>この授業は、「健康スポーツ科学Ⅰ」と結びついた知識と共に、各自の体力を把握し、身体活動を実施することで起こるからだの変化を理解することを目的としています。自由記述では「楽しみながら行える授業だったのでとてもよかったです。健康についての知識も身に付けることができて良かったです」や「他学科とも合同だったから普段関わらない人とも関わることができたし、同じ学科の子とはさらに仲を深めることができたところ」「説明がわかりやすく段取りが良かったことや休憩の時間を作っていたこと」という意見がありました。</p> <p>授業の目的が伝わっていることが理解でき嬉しく思いました。</p> <p>この授業で学んだことを今後、自らの生活に即して考え、自身の健康のために継続して実践されることを期待しています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	健康スポーツ科学 I				
担 当 者	近藤みづき他				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.3	4.3	4.4	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>アンケートへの回答ありがとうございました。授業評価結果や記述内容をみると、ある程度皆さんが満足する授業が展開できたと感じています。特に、毎回教員が変わり、様々な知識が得られたことが良かったようです。</p> <p>本授業はそれぞれの教員が専門分野をいかして健康にアプローチしていく授業内容で構成しています。自由記述から、「ただ健康と運動について学ぶだけでなく、自身の生活を振り返るよう促しているのがよかった。」や「この授業を通して、身近なテーマである健康について改めて基本的な知識を習得することができました。」また、「健康に対する多角的な視点からのアプローチを学ぶことができ、自身の健康について深く考える時間を持つことができた。」という意見がある一方で、「音声の大きさを改善してほしい」、「テスト前のレポートはやめてほしい」といった意見もありました。動画の音声については、毎年確認しているのですが今回も共有し、改善します。テスト前のレポートですが、どうしても前期後半になると出席のレポートの締め切りよりも定期試験のレポート締め切りが早くなってしまうことがあります。次年度、可能であれば授業日程を検討したいと思います。</p> <p>皆さんにおいては、遠隔授業であっても、毎回のレポート提出を努力されていたと思います。この授業で学んだ知識は、個々の毎日の生活改善に取り入れ、生涯にわたって健康的な生活が送れるようになることを期待しています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	英語コミュニケーションⅠ				
担 当 者	山崎麻由美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.2	4.3	4.2	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>今年度は全体の 3 分の 1 以上の方が授業以外の学習に 1 時間以上かけて勉強していました。2 時間以上かけたという人も 20 人以上いました。また 30 分以上勉強した人と併せるとほぼ全員になり、多くの方が真面目に授業や課題に取り組んだことが分かります。毎回出題されたマナバの課題も、概ね遅れることなく提出できました。課題自体はさほど難しいものではなかったと思いますが、学習の習慣をつけてほしいという意図で出題されたものでした。また、毎回の単語の小テストにも真摯に取り組んでくれました。単語数を増やすことが、英語の力の底上げになります。大半の方は中学校から高校までの 6 年間英語を学んでいるので、文法の基礎知識は身につけています。ここからは語彙力を伸ばすことが大切になってきます。語彙を増やす努力は地道に続けてほしいと思います。</p> <p>英語が得意な人も苦手な人もいますが、今年度の皆さんはよく努力をしていたと思います。英語の学習はどのようなものを使ってでもできます。時間が自分のために十分に使える学生時代に、自分に合う方法で英語に是非取り組んでほしいです。医療現場では英語が必要な場面が多いことと思います。これからも自分で積極的に学んでくれることを願っています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	現代社会と化学				
担 当 者	日尾 泰也				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.5	4.7	4.7	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価ありがとうございました。</p> <p>高校で化学を履修されていない方や、化学が苦手という方が受講しているというという前提で、現代社会の中でのさまざまな化学に関するテーマを取りあげ、少しでも化学に興味を持ってもらいたいという視点で話を進めました。これをきっかけに、ますます化学に興味を持っていたいただければと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場ミニゼミ A				
担 当 者	上原弘美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.3	4.9	4.9	4.9	4.9	
学生へのメッセージ					
<p>1 年生前期科目とした開講したこの科目には、8 名に受講をしてもらいました。「口腔の健康」と「身体の健康」に興味を持っていただきたく、講義や実習、また学生さんによるプレゼンテーションなど楽しく授業をおこないました。</p> <p>積極的な姿勢で受講してもらい、授業評価の 4 項目ともに、5 点満点に近い評価をいただきました。この講義を受講して、知らなかったことを知る喜びや自身の健康に向き合う姿勢など、医療人としての基本的な態度を身に付けてもらえたなら嬉しいです。</p> <p>これからの学生生活において、何事にも能動的に学習を積み重ねていってください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	安全学				
担 当 者	伴仲謙欣				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.2	4.1	4.1	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>履修生のみなさん、授業お疲れ様でした。そして、授業評価に回答してくれたみなさん、ご協力ありがとうございました。</p> <p>大きな災害が頻発する近年において、各人が防災を考えることは当たり前のことになってきています。今年も日本各地で大きな地震や水害が頻発しています。いま、自分の身に同じことが起こったらどうしますか？この授業で知ったことが役に立ちますか？</p> <p>特に、専門職を目指すみなさんには、一人の市民としてだけでなく、「職業人」としての防災や安全についての知識や意識が求められます。それは言い換えると、有事の際には「自分だけでなく自分以外の誰かを守る」という職業的責任、あるいは職業倫理を持たなくてはならないということです。そのことについても、今後考えるきっかけになると嬉しいです。</p> <p>一方で、この授業は外部の先生が中心となるオムニバス形式です。そのため、どうしても授業の進行がイレギュラーになり、みなさんにとっては不便があったことと思います。授業冒頭でも話しましたが、オムニバス形式の授業は色々な意味で難しいのです。しかし、その中でも粛々と欠席なくがんばり通した人は、プラスの評価をしました。この授業の様々な経験が、将来のみなさんのプロフェッショナリズムや今後の学び方につながることを期待しています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3		
科 目 名	暮らしの中の物理学				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4.5	4.6	4.3	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>不思議な物理現象を体験してもらったコンセプトでしたが、百聞は一見に如かずで、体験してもらえて良かったと思います。</p> <p>①この授業でよかった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問への対応が丁寧だった点。難しい内容もあったが、詳しく説明されていた点。日常生活の中で活用されているところも踏まえて説明されていた点。 ・放射線面白いと思ってたから時々話す放射線の話が好きだった。 ・実験もあったのがより身近に感じる事ができて楽しかったです。 ・物理が苦手な人でも興味の湧く内容で良かったです。 ・とても興味深い内容ばかりでもっとこの授業を続けたいと思いました <p>②この授業で改善すべきだと思った点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話すスピードをもう少し遅くしてもいいかもしれないと思いました。 					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ A				
担 当 者	高久圭二				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>放射線とどう付き合うかというテーマでしたが、実験や、調査、オリジナルの放射線の偏見を考えるための劇の作成など、多方面からのアプローチで、テーマについて学んでもらえたと思います。</p> <p>①この授業でよいと思った点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践的に学べてとても面白かったです ・R 科で習ったことやそれ以上のことを自分で調べることを通して、より放射線の安全さを知ることができたと思いました。自発的に発表をすることができたのが良かったと思います <p>②この授業で改善すべきだと思った点</p> <p>なし</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini ゼミ A				
担 当 者	関 雅 幸				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	4.9	5.0	4.6	5.0	
学生へのメッセージ					
<p>学生による授業評価調査は「授業の到達目標が授業でわかりやすく示された。」、「板書、スライド、教材などの使い方は適切だった。」という事柄に対して課題が残るという結果になりました。</p> <p>この授業は回数が少ないので、いろんなことを試す機会はほとんどなかったでしょうが、私が担当している M 科・R 科の卒研では夏休みも使って活動し、最初の 2 か月くらいはいろいろ試してもらっています。卒研のテーマによっていろんな活動形態があると思いますので、どのようになるかはわかりませんが、有意義な卒研ができるようにしっかり学んでいってください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	大学道場 mini セミ A				
担 当 者	木村英理				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.7	4.8	4.7	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>私が担当する大学道場 mini セミ A では「心の世界を科学する」をテーマに、実際の医療現場で用いられている心理検査や心理学部で用いられている心理実験材料を使用し、様々な現象を科学してみました。心理学で扱う範囲は多岐にわたるため、今回は、人格心理学、認知心理学を中心に行いました。</p> <p>高校を卒業して大学生になった時期に、自分のパーソナリティや特性というものをデータとして知ること、そして、周りにはいろんな特性の人がいるということを知ってもらいたいきっかけになったのではないのでしょうか。</p> <p>心理学はみなさんの身近にある学問です。今回のゼミでちょっとでも興味を持ってもらえたらうれしいです。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	哲学と倫理				
担 当 者	中野 康次郎				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	3.8	3.8	3.8	3.9	
学生へのメッセージ					
<p>この「哲学と倫理」の授業では、受講者の皆さんに「自分の頭で考える」という作業をしてもらいました。</p> <p>毎回提出してもらった感想の中には「難しい」という意見もありました。確かに簡単には答えが出ない問題もあります。しかし、「考える」ということは楽しい作業でもあります。その楽しさに気づいていただけたでしょうか？</p> <p>「哲学と倫理」の授業は終わりましたが、皆さんが今後とも考え続けて行かれることを期待しています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3		
科 目 名	日本通史				
担 当 者	片山正彦				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.2	4.2	4.3	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>サブタイトルを「畿内近国の中近世史」として、テーマをしぼりましたが、2000年以上の歴史がある日本史をわずか8回の授業で講義するということもあり、こちらが伝えたいことを上手く皆さんに伝えられず、非常に申し訳なく思っております。またの機会があれば、神戸もしくは兵庫県という地域の歴史に密着した講義をして、受講者の皆さんに興味を持っていただけるような内容にしたいと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1		
科 目 名	人類と農学				
担 当 者	大菅誠司				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4.3	4.3	4.3	4.5	
学生へのメッセージ					
<ul style="list-style-type: none"> ・この授業を受けて、少しでも植物・農業・環境に関心を持ってもらおうと思いました。 ・植物名をよく知ってもらうため、スライドを多数用意し実物をイメージできるようにしました。 ・植物名などを答えるクイズを毎回行いましたが、これをきっかけに植物に興味を持ってもらえたらうれしい。 ・PowerPoint の発表をしてもらいました。色々なテーマがあり全員で楽しく見られました。これからの仕事に生かしてください。 ・野菜や草花を育ててみたいと思うように少しはなりましたか。 ・毎回の食事で口に入るまでにたくさんの人の手がかかっているのがわかりましたか。 ・自分の専門以外の勉強も幅広くしておくことが大事です。たくさんの知識、情報を手に入れてください。 ・パソコン、スマホなどの世界になれていると思いますが、読書・手書きの世界も重要です。 					

学生へのメッセージ

学 科	基盤教育	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	日本国憲法				
担 当 者	柴山 慶太				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	4.2	4.2	4.1	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>畑違いの分野にも関わらず、よくついてきてくれました。</p> <p>この授業では、法学部の学生と議論をできるくらいの知識と法的思考力をお伝えしました。みなさんも、授業の後半では、問答ができるまでがんばってくれました。</p> <p>「法律」というのは、理解をした上で、これを使って自分の意見を主張するための道具です。皆さんは、道具を使う力を持ったのですから、これから、世の中の出来事に対して、自分の意見を主張して行ってほしいと思います。</p>					